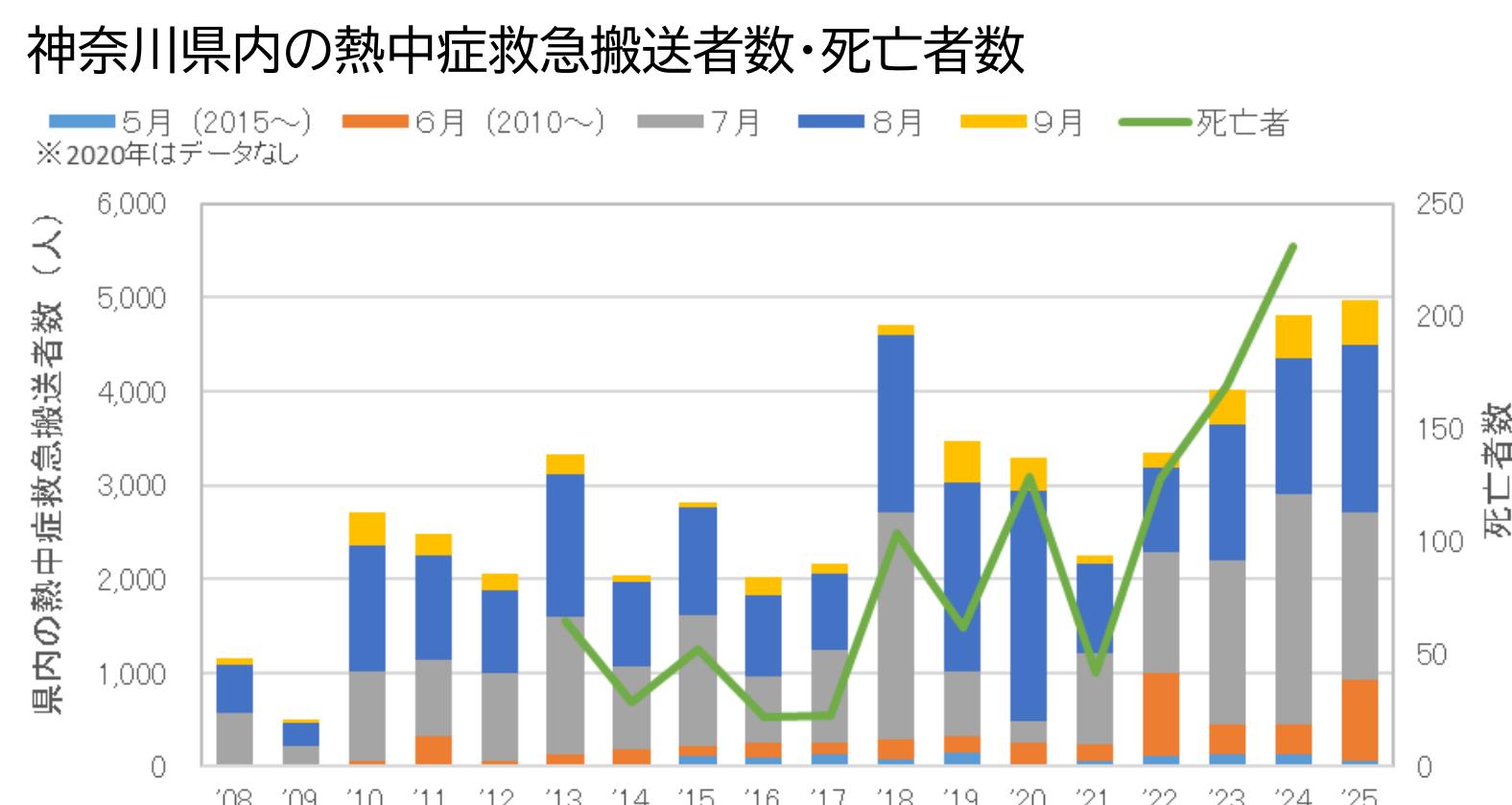




神奈川県における暑さ



県内の熱中症搬送者数は、今年度、過去最多となる4,972人を記録

翌日の日最高暑さ指数(各日10:00の予測値)

日	横浜	三浦	海老名	辻堂	小田原
8/1	31	33	32	32	32
8/2	34	34	34	34	34
8/3	33	34	33	33	32
8/4	32	33	33	32	34
8/5	33	35	34	35	34
8/6	31	31	31	30	31
8/7	32	34	32	32	31

熱中症特別警戒アラートが
発令しそうな暑い夏

取組概要

独自の取組

ヒートアイランド調査、教材作成、
暑さ指数計の貸出 など

国環研との共同研究(適応型)

モニタリング(暑さ指数等)、
熱中症救急搬送者数に係る分析

大学との共同研究

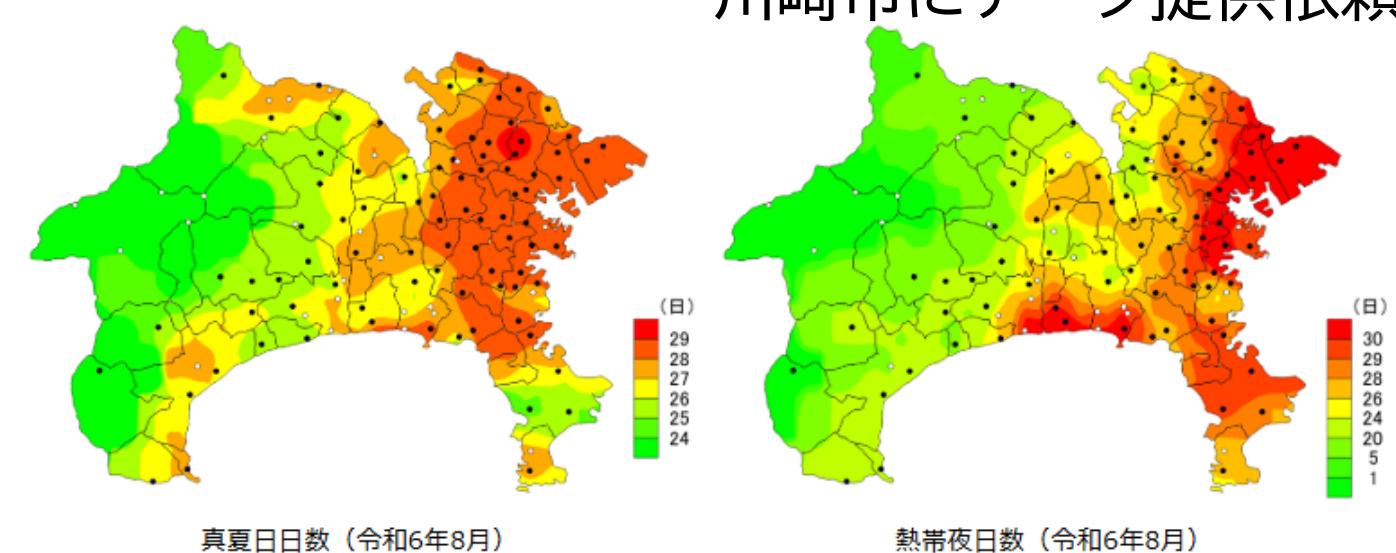
市民科学を活用した
気候変動対策の検討・推進

神奈川県LCCACの取組

ヒートアイランド調査

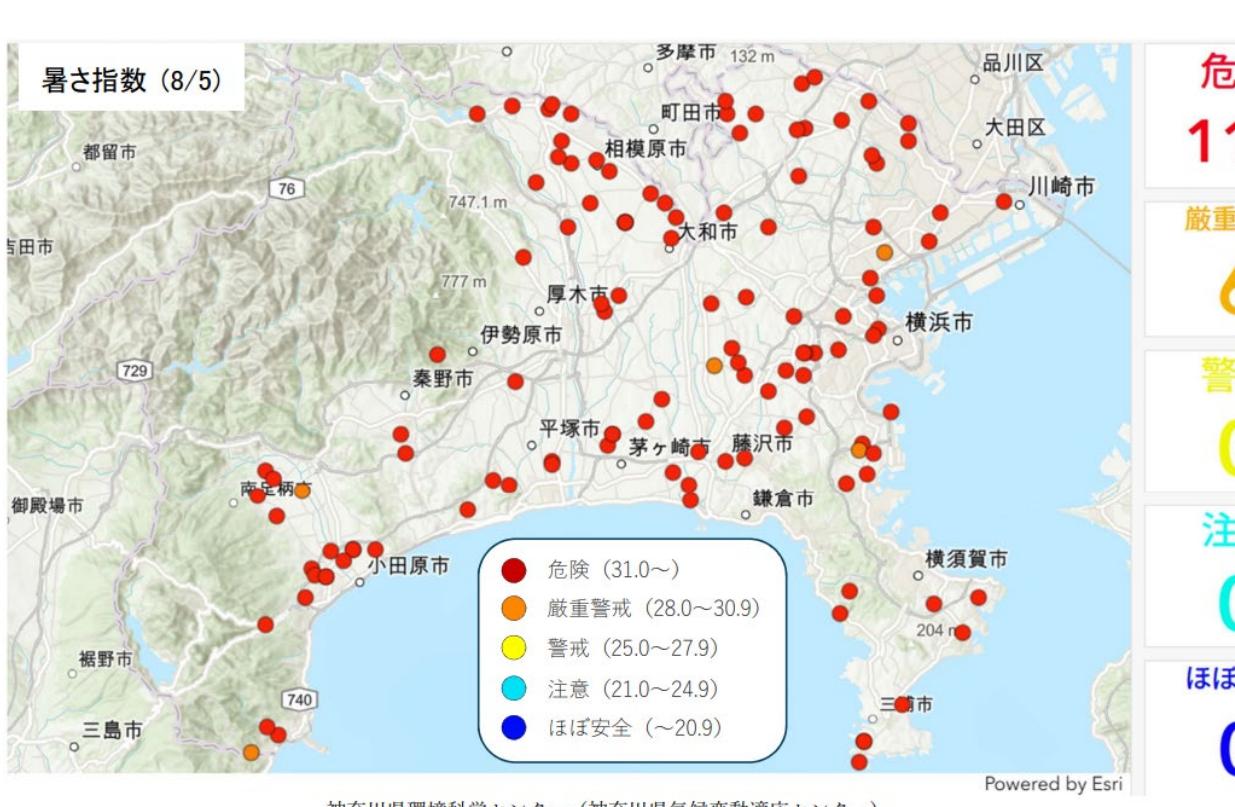


- 公立小学校の百葉箱に温度口ガード・温湿度口ガードを設置(R7:39か所)
- 県関係各課、横浜市及び川崎市にデータ提供依頼



昼間…川崎市、横浜市北東部及び県央～県西(一部)が暑い
夜間…川崎市南部、横浜市臨海部、湘南臨海部が暑い

県民参加型調査「かながわ暑さ調べ」



【実施フロー】

- 参加者を募集 R7:200名に対し約400名応募
- 定刻に一斉測定 8月の毎週火曜日13時前後
- 暑さ指数をWeb上に投稿
- 暑さ指数計＆測定結果、アンケートを返送

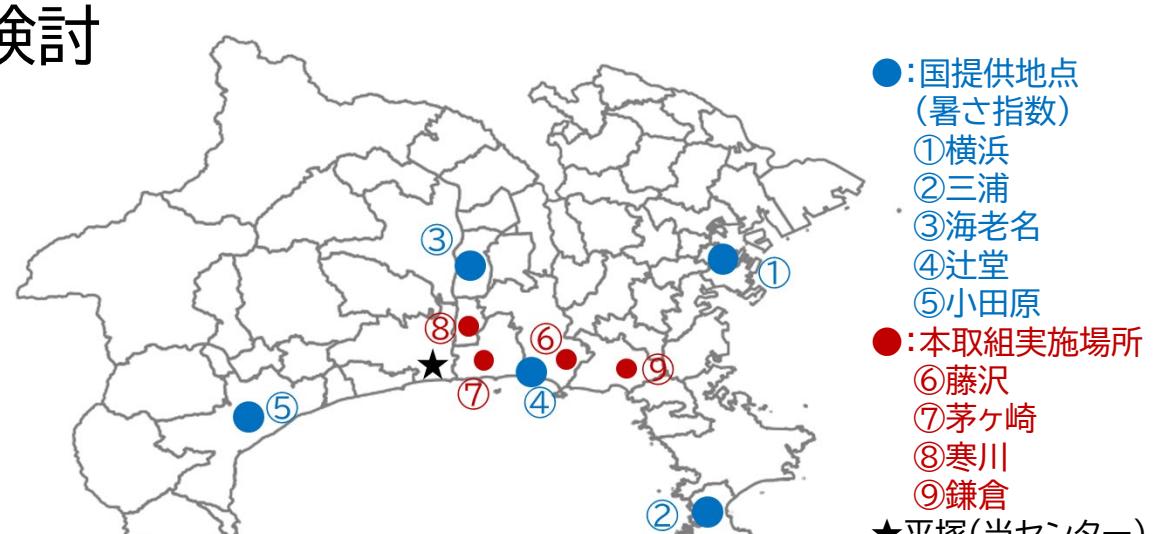
(上写真)貸出している暑さ指数計(ハンディタイプ)
JIS B 7922準拠(クラス2)、¥6,000(税抜き)

(上図)R7.8.5の結果:県内のほとんどの地点で危険(暑さ指数31以上)となった
例年の結果:暑い日だと危険:厳重警戒が8:2～5:5位の割合
R7は本調査参加者を対象としたワークショップを開催(主催:東京都市大学、当センターは共催)

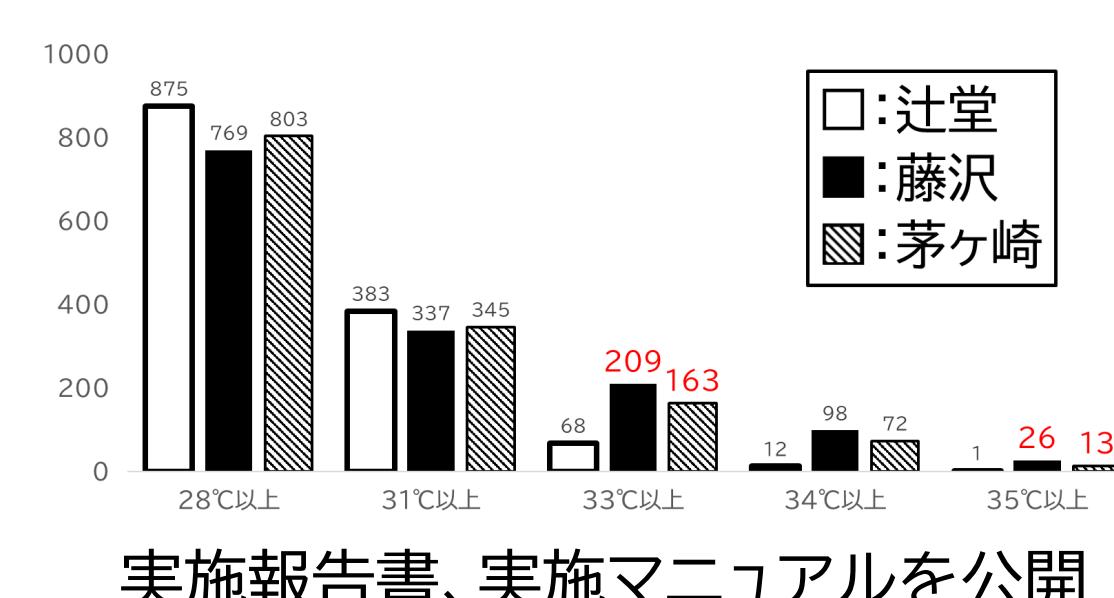
市町村連携事業



- 県民に注目されやすい身近な場所で暑さ指数をリアルタイムで測定・掲示し、熱中症への注意喚起
- 【今後】関係者と暑さ指数の測定値をオンラインで共有し、暑さ指数を使った効果的な熱中症対策の促進スキームの構築を試行・検討
⇒広域的な熱中症対策の推進&適応策としての熱中症対策の検討



R6:3基設置:藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町
R7:4基設置:藤沢市、茅ヶ崎市、鎌倉市、平塚市(当センター) R8も別地点で実施予定



【R6結果抜粋】
○28°C 地点間で大きな差なし
○33°C 同市内である辻堂と藤沢で約3倍の差
○35°C 藤沢及び茅ヶ崎では10時間以上観測
辻堂では1時間

普及啓発



一般・高校生向け、中学生向け、小学生向け動画



Web資料集(かながわ気候変動WEB/KIDS)



○イベント出展
例:ガチャで出てきたお題を読んでシールを貼る

○出前講座/講師派遣
県民・学生・事業者など
様々な方々を対象に実施
例:講義⇒グループワーク

